

2020年12月25日

北海道知事 鈴木直道 様

雇用・くらし・SOSネットワーク北海道

代表 渡辺 達生

北海道生活と健康を守る会連合会

会長

北海道民主医療機関連合会

会長 小市 健一

北海道社会保障推進協議会

会長 堺

年末年始における困窮者への支援・対応を求める要請書

新型コロナウイルス感染症に対する貴職のご尽力に敬意を表します。

今般のコロナ禍により、地域では倒産や解雇などによる失業者や休業等による収入減少など、困窮者が大幅に増加しています。

年の瀬を迎え、各地で困窮者などへの相談会が行われていますが、相談内容は「所持金がない」、「食料がない」、「住居がない」、「体調が悪いが保険証がないため受診できない」など、多様な困難が複合的に重なって、直ちに支援を必要とする、極めて深刻な相談が多数寄せられています。

しかし、相談から支援につながっている人は、ごく一部で、地域には直ちに支援を必要とする困窮者が多く潜在していることが容易に想像され、年末・年始の間も緊急の支援が必要とされる人が多数発生すると思われます。

つきましては、道民のいのちを守るため、様々な困難を抱えた困窮者に対し、必要な支援が行き届くよう、対応をお願いします。

記

1. 住居を喪失した方が、住居が確保できるまでの間、臨時的に入居できる施設（ホテル、アパート等）を確保し、費用を全額補償して下さい。
2. 困窮者の生活が安定するまでの当面の食料、生活費等の支援ができる体制の確保をお願いします。
3. 相談内容によっては、生活保護を申請したい、または、必要と判断される場合には、申請ができるようにしてください。
4. 医療を必要とする人が、保険証や所持金がないことによって受診をためらうことが無いよう、相談窓口を設けるなど、受診を促して下さい。
5. 年末年始、24時間、上記の対応できるよう相談窓口を設置して下さい。
6. 上記について、道民に情報が行きわたり、必要な支援が安心して利用できるよう周知・徹底をお願いします。

以上